

ふくやま草戸千軒ミュージアム ニュース

～第126号～

広島県立歴史博物館



HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

令和3年度 春の展示

山陽自動車道建設で 見つかった遺跡

令和3年4月23日|金| ▶ 6月13日|日|



陣開第3号古墳(三原市)出土 土師器・須恵器(広島県立埋蔵文化財センター蔵)

山陽自動車道は、山陽地方を東西に貫く高速道路で、兵庫県神戸市北区を起点に、岡山県、広島県を通り、山口県山口市(山口JC)へ至る高速道路です。この山陽自動車道建設に当たっては、事業地内から数多くの遺跡が確認されており、広島県内で工事に先立って発掘調査が行われた遺跡は60か所にのぼります。それらの遺跡の中で、最初に発掘調査されたのは福山市春日町の平松1号遺跡でした。時期は昭和56年(1981)1月。今からちょうど40年前です。

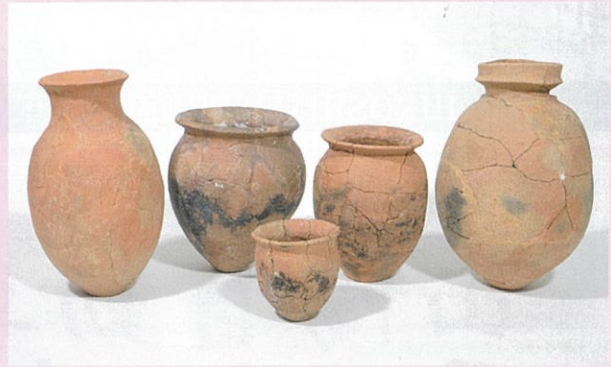
今回の展示では、発掘調査が行われた60遺跡のうち、注目の遺跡について取り上げます。

関連行事は2頁へ ▶▶

東西に長い広島県を掘ってわかる東西の違い!

山陽自動車道建設に伴う発掘調査は、昭和56年(1981)から平成3年(1991)まで、11年間行われました。当時は個々の調査成果がクローズアップされることはありませんでしたが、11年間の調査を通して分かったことがまとめられたことは、これまでありませんでした。最後の発掘調査が行われておよそ30年、広島県内ではその後も数多くの発掘調査が行われ、当時はよく分からなかったことが明らかになったり、同じような事例が増えて当時の説が補強されたりするなど、研究が進みました。こうした研究成果の中でも、今回は広島県の東と西の違いに注目してみたいと思います。

まず、弥生土器についてです。右の写真は、広島市佐伯区の浄安寺遺跡から出土した弥生土器です。浄安寺遺跡は石内川を見下ろす丘陵上で見つかった弥生時代後期の遺跡で、多くの竪穴住居跡等が検出され、この地域の中心的なムラの一つと考えられています。



浄安寺遺跡出土弥生土器壺・甕 (広島県立埋蔵文化財センター蔵)

広島県の弥生土器は、弥生時代後期では、南部と北部で異なりますし、南部でも東と西で大きく形が違ってきます。浄安寺遺跡のような西の土器は、三原市本郷町辺りまで出土しますので、弥生時代後期の土器の境目は三原市辺りにありそうです。



弥生土器壺の肩部の刺突文

ただ、同じ西の土器でも、さらに小さな地域の特徴により細分化されます。例えば、広島湾岸と東広島辺りの土器では、広島湾岸の土器は、右の写真のように土器の肩部に二枚貝を押し当てた模様をつけますが、東広島市辺りでは木のへらを使うのが一般的です。

次に、奈良時代の土器を見てみましょう。1頁の写真は、三原市本郷町の陣開第3号古墳の横穴式石室から見つかった奈良時代の土器です。赤っぽい土器は土師器、灰色の土器は須恵器で、左奥の須恵器は火葬骨を入れた蔵骨器です。陣開第3号古墳は、6世紀後半頃に造られた古墳ですが、奈良時代に火葬骨を入れた蔵骨器を納める場所として再利用されたようです。

さて、赤っぽい土器に注目すると、酸化炎焼成のために赤っぽいということもありますが、色を塗ることで意識的に赤く仕上げるとともに、内面には木の工具を使って表面を磨いた痕跡があり、飛鳥～奈良時代の畿内で多く使われた土器の特徴を持っています。広島県の南東部の墓(古墳を含む)からは、奈良時代の畿内の皿を模した土器が多く見つかったことから、陣開第3号古墳から出土した奈良時代の土器は、当時、本郷町が県の南東部に含まれていたことを示していると考えられます。

以上のように、三原市本郷町は、弥生時代には県の南西部に、奈良時代には県の南東部に属していたことが推測されます。広島県の東と西の境目は、時代によって動いていたようです。

令和3年度 春の展示

山陽自動車道建設で見つかった遺跡

開館時間 9:00～17:00

(ただし、入館は16:30まで)

休館日 月曜日(5月3日を除く)

入館料 一般290円(220円)、大学生210円(160円)、高校生まで無料

※()は団体20名以上の料金

開催記念講演会①

日時 4月24日(土) 14:00～15:30

演題 弥生・古墳時代の広島県域にみる多彩な地域文化

講師 村田 晋(広島県教育委員会事務局文化財課 主任)

開催記念講演会②

日時 5月15日(土) 14:00～15:30

演題 古代山陽道の駅家を掘る

一安芸郡府中町下岡田官衙遺跡、国史跡に一

講師 渡邊昭人(公益財団法人広島県教育事業団事務局埋蔵文化財調査室 主任調査研究員)

頼山陽史跡資料館

特集展「The 花鳥画」

令和3年

4月3日(木)～5月23日(日)

当館では、令和元年秋に企画展「風雅なWho? かな山水画展」を開催しました。

この企画展では、南宗画士の岡原大華^{おか ほら たい か}氏が蒐集されたコレクションの中から、近代日本画^{しゅうしゅう}の中では「旧派」と括られ、今ではその名を聞くこともなくなってしまった画家たちの山水画を紹介しました。新しい表現は生み出せなかったかもしれませんが、その見事な筆技はもう少し評価されるべきではないか、との思いで企画したものです。

今回は、岡原氏のコレクションの中から旧派^{わたくし}の画家たちの花鳥画を紹介します。渡辺省亭^{わたなべ せい せい せい}・村瀬玉田^{むらせ ぎょく だん}・喜多村松斎^{きただ しょう さい}・平井直水^{ひらい ちよく すい}など、今ではWho?な画家たちですが、いずれも卓越した技巧の持ち主です。「美は細部に宿る」といいます。ぜひその作品の繊細な筆遣いを御覧になってみてください。

新春1月2日、NHK総合で時代劇「ライジング若冲」が放映されました。御覧になられた方も多いかと思えます。この作品の劇中で使われた下絵や作品の制作とともに、俳優の手元の吹き替えや水墨画指導にあたられたのが岡原大華氏です(番組の最後には、円山応拳の門人役として御本人も出演されました)。今回の企画展では、若冲ばりの超絶技巧で知られる岡原氏の作品も併せて紹介します。どうぞ御期待ください。



かいかくばんとうず 海鶴蟠桃図 絹本着色 岡原大華筆

頼山陽史跡資料館

- 会 場 / 広島市中区袋町5-15 TEL.082-298-5051
- 時 間 / 9:30～17:00 (入館は16:30まで)
- 休 館 日 / 月曜日(ただし5月3日〔憲法記念日〕は開館)、5月6日(木)
- 入 館 料 / 一般200円(160円)、大学生150円(120円)、高校生まで・65歳以上無料
※ ()は団体20名以上の料金 ※特別展・企画展は別料金です。
- 関連行事 / ●展示解説会 日 時: 4月10日(土)、5月5日(水・祝)・15日(土)いずれも13:30～
解 説: 当館職員



RAI SAN Y O U

博物館実習レポート

当館では、毎年7月末頃、大学で博物館の学芸員資格取得を目指す学生向けに、博物館実習を6日間の日程で実施しています。今年度は、新型コロナの影響で、7月21日～26日(I期)と、7月28日～8月2日(II期)の2グループに分けて少人数で実施しました。

今年度は、グループで展示を作り、それを一般の方々に見ていただく、という展示実習をプログラムの中心としました。

令和3年度も、展示作りを中心に実習を行い、その成果を8・9月のミニ展示で公開します。

参加学生の感想文から

私は、7月28日(火)から8月2日(日)の期間で博物館実習に参加しました。今回の実習で特に印象に残っていることは、展示作成の実習です。

実際の資料を用いて、その資料を展示する上で、どのようなことを説明したら来館された方が分かりやすいかなど様々なことを考えながら、チームで協力して一つの展示を作成し、評価をしていただきました。まだまだ未熟な内容ではありましたが、展示をする上で重要なことを詳しくアドバイスしていただき、学芸員の仕事で大事にしなければならぬことを学びました。

展示作成だけでなく、資料の保存の仕方など詳しい情報まで教えていただき、有意義な博物館実習にすることができました。職員の皆様、本当にありがとうございました。(岡山大学3年生 渡世理彩さん)



(II期)の小グループに分かれて展示の説明文を作成している様子

令和3年度の展示会のお知らせ

広島県立歴史博物館

夏の企画展

ひろしまの遺産 - 広島県の重要文化財 M - 会期: 7月15日(木)～9月5日(日)

国や県から重要文化財に指定されている貴重な資料を展示するとともに、関連する文化財を併せて展示し、それらの資料にまつわる物語を紹介します。

秋の企画展

守屋壽コレクション受贈記念

京・江戸・長崎 ～近世・海の旅と憧れのまち～ 会期: 10月1日(金)～11月23日(火・祝)

日本最大級の古地図コレクション「守屋壽コレクション」が、昨年、当館に寄贈されたことを記念して開催します。近世の船旅と「千年の都 京都」、「百万人の都市 江戸」、「異国情緒の町 長崎」に焦点を当て、古地図や絵画資料などから3都市の魅力と独自性を紹介します。

早春の展示

商い・遊び・祈り - 木簡が語る中世 - 会期: 1月21日(金)～3月21日(月・祝)

草戸千軒町遺跡からは、中世の人々の暮らしぶりを示す木簡が数多く出土しています。代表的な木簡を一堂に展示し、木簡に記された文字を読み解くことによって、木簡の果たした役割や、商い・遊び・祈りなど、人々の生活や文化などを紹介します。

頼山陽史跡資料館

特集展	企画展	特集展	企画展	特集展	特別展	全国公募
頼山陽遺墨選	名刀に挑む! 刀匠三上貞直 の軌跡	頼聿庵 ～大字書の 魅力～	ひろしま 紙ものがたり	頼山陽書道展	南画って 何なん ひな人形と 春の書画展	南画精華展
会期 5/27～7/11	7/17～9/5	9/9～10/17	10/21～12/12	12/18～1/9	1/13～2/13	2/17～3/13
						3/18～3/31

計 報

広島県立歴史博物館友の会副会長の高橋 伸様が、昨年11月に、お亡くなりになりました。謹んでお悔やみ申し上げます。

ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)ニュース 第126号

編集・発行

令和3年3月5日

〒720-0067



ふくやま
草戸千軒ミュージアム
(広島県立歴史博物館)
HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

広島県福山市西町二丁目4-1
TEL(084)931-2513 FAX(084)931-2514
URL : <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/>
e-mailアドレス : rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp

